

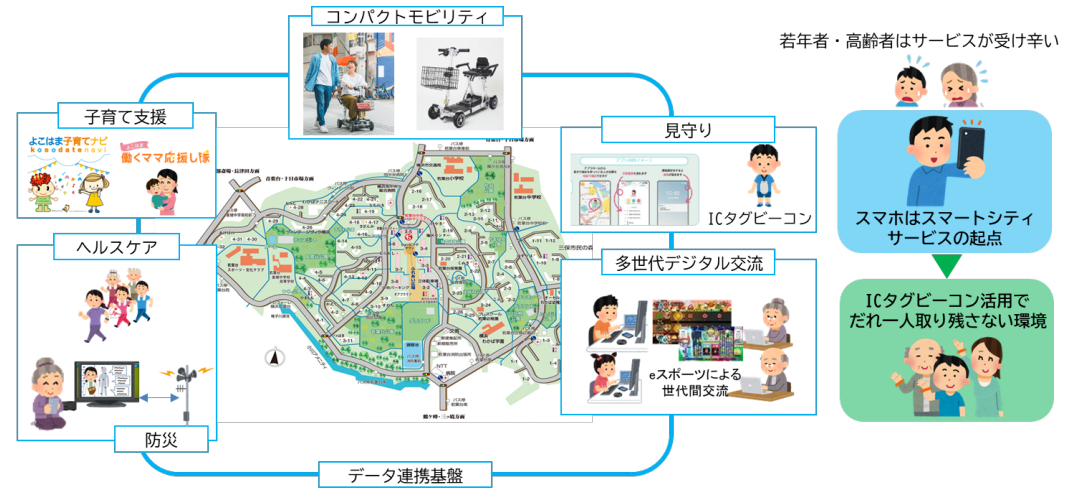
事業概要 【ICタグビーコン活用スマートシティサービス】

実施地域	神奈川県横浜市旭区若葉台団地
実施主体	一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会（CSPFC）
事業概要	<p>現在のスマートシティサービスの起点は主にスマートフォンとなっており、若年者（4-15歳）や高齢者（75歳以上）といったスマートフォン利用率の低いIT弱者（全国に約3千万人/若葉台団地は約5千人）は、スマートシティサービスを活用することが困難になっています。</p> <p>ICタグビーコンは、データ連携基盤と組み合わせればスマートフォンと同様に個人を特定してスマートシティサービスを提供するのに使える一方、スマートフォンに比べて取扱いが容易であり、維持コストも安価であるという利点があります。</p> <p>そこで、IT弱者がICタグビーコンを通じてスマートシティサービスにアクセスできる環境を構築することで、「だれ一人取り残されないスマートシティサービス」を実現します。</p>

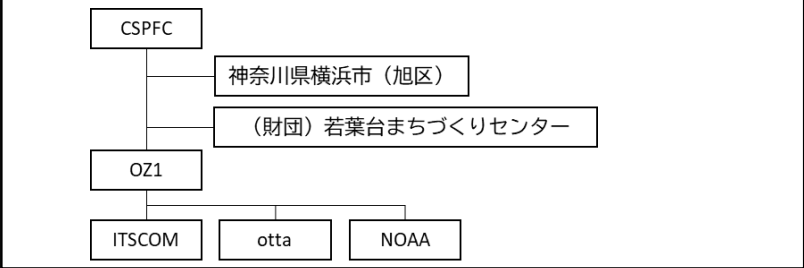
取組内容

横浜市が進めてきたデジタルサービス（ヘルスケア、見守り、防災など）をデータ連携基盤に接続し、子供や高齢者など、スマートフォンを持ってないまたは使いこなせない人でもICタグビーコンを通じてスマートシティサービスを受けることができる環境を整備します。

また、ICタグビーコンを活用したコンパクトモビリティサービスを構築し、高齢者等のスムーズな移動を支援します。



実施体制図



システム構成図

